

あいちの印刷

2

2016.2
No.531



道後温泉本館（愛媛県松山市・重要文化財）

もくじ

- 巻頭言「ダイバーシティ・マネジメントを行うために」… 3
- 愛印工・創立60周年記念事業 380名が60周年を祝う
「想い」を伝えて60年 ～印刷のその先へ～…………… 4
- 愛知県印刷工業組合
60周年式辞…………… 8
- 経済産業省／税制改正(予算案)
ものづくり・商業・サービス補助金継続へ…………… 9
- 日印産連
「印刷用語集」さらなる内容を充実…………… 9
- 「労働安全衛生法」が改正
労働災害を未然に防止するための仕組みを充実
印刷・製本作業におけるリスクアセスメントのすすめ方…10
- 身近な催し物のお知らせ……………11
- 愛印工組
光文堂新春機材展「コラボレーション展」に出展……………12
- 愛印工組・マーケティング委員会
新しいビジネスモデルを考える研修会 営業育成支援！……………13
- 第6回ポスターグランプリコンペティション
「ポスターグランプリ作品集」発行……………14
- 全印工連「Shin」第5号発行 CSR認定企業紹介……………14
- 編集だより……………14

人に 社会に 想いを カタチに

///O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

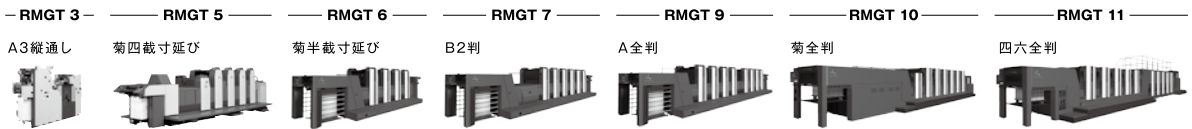


ともに、世界へ彩りを。

2015年7月、リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は
シンボルマークとコーポレートメッセージを新たに決めました。

「ともに、世界へ彩りを。」というコーポレートメッセージには
お客様はもとより、印刷業界に携わる全ての皆様と信頼関係を築き、
ともに、彩りのある社会づくりに貢献したいという想いが込められています。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は、独自の技術をもとに、
様々な印刷機やサービスをグローバルに提供してまいります。



リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して **ERC**シリーズ誕生。



ERC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912 福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064 札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
大阪支店 東大阪市荒本新町3-2-9 TEL 06-6618-5335 FAX 06-6618-5337 〒577-0022 新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
四国営業所 愛媛県四国中央市新宮町上山3307 TEL 0896-72-2020 FAX 0896-72-2050 〒799-0302 仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

ダイバーシティ・マネジメントを行うために

ブランディング委員会委員長 荒川 壮一

早いもので、昨年度に発足したブランディング委員会も、もうすぐ二期二年を終えようとしています。他の委員会と比べて極端に少ないメンバー。それでもなんとか全員で助け合いながら、印刷産業を若手労働市場にPRする様々な活動に取り組んでまいりました。快くご尽力いただきました委員のみなさまには、あらためまして感謝を申し上げます。

しかしながら、我々を取り巻く若手採用活動の現状は大変に厳しいものがあります。2016年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は1.73倍と、前年の1.61倍より+0.12ポイント上昇。全国の民間企業の求人総数は、前年の68.3万人から71.9万人へと3.6万人も増加したそうです。まさに売り手市場。熾烈な採用活動に勝ち残らなければ、「若いエネルギー」の確保は出来ないのが現状です。

会社組織において「若さ」とは、明るく前向きかつ、新鮮な空気を作り出す最高の武器です。優秀な若い力に引っ張られるように、中堅・ベテラン社員のエネルギーが蘇ってくる瞬間をわたしは何度も見ました。社員の平均年齢を下げることの重要性を痛いほど感じるのです。今後、印刷産業が若い労働力を確保出来るかどうか、我々産業の運命を担っているとさえ思います。若年労働者市場への、印刷産

業のブランディング活動はますます重要になってくるのでしょう。

しかしながら、一方では消費も労働力も今後の主役は若者ではありません。本格的な人口減少社会に突入する我が国において、それは高齢者や女性、障がい者や外国人にとって変わられるのだと思います。ユニバーサルやダイバーシティといった考え方が、いま以上にあたりまえとなる世の中。どうやら我々は、さまざまな労働力の確保を戦略的に検討しないといけない局面にあるようです。組織のエネルギーの原動力である若手社員の採用活動を継続する一方で、高齢者・女性・障がい者・外国人が、いかに活躍する組織風土を作り上げるのか。ダイバーシティ・マネジメントを行うために、自社の何を革新し、何を守っていくのか。さらには、優秀な労働力に選ばれる会社とはそもそもどんなものなのか。人と組織との本質的な関係性をとことん考え抜いて追求していくことが、21世紀を生き抜く企業には必要であると感じています。

組合員のみなさまと様々な意見を交換しながら、これからの社会にとって必要となる会社創りをしていきたいものです。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

愛印工・創立60周年記念事業 380名が60周年を祝う



「想い」を伝えて60年 ～印刷のその先へ～



式辞を述べる木野瀬吉孝理事長

「新鮮な情報提供と組合発展のための活動に邁進」

愛印工組の創立60周年記念事業(記念式典、記念祝賀会、記念セミナー)が、1月13日午後1時30分より、名古屋・栄の名古屋東急ホテル「ヴェルサイユの間」で開催された。式典、祝賀会には、来賓、関連業者、組合員など380名を超える参加者が出席し創立60周年を祝った。式典では、木野瀬吉孝理事長が「60周年を契機とし、未来を見据え発展を目指す組合員のために、新鮮な情報を提供すべく、そのための活動に邁進していく」と力強く挨拶。席上、組合役員功勞表彰、特別優良従業員表彰も執り行なわれた。賑やかに繰り広げられた祝賀会では、60周年を祝うとともに情報交換に華が咲いた。また、式典に先立ち行なわれた記念講演では、大阪産業創造館チーフプロデューサー山野千枝氏が講演した。(写真は記念祝賀会会場)

□記念式典

記念式典は、細井俊男副理事長の開会の辞に続き、参加者全員による国歌斉唱、全印工連女性活躍推進委員の近藤起久子氏の先導による印刷産業人綱領の唱和が行なわれた後、木野瀬理事長が主催者式辞を述べた。

「愛印工の前身は、戦後、昭和22年に誕生した愛知県印刷工業協同組合である。その後、昭和24年に愛知県印刷協同組合に名称を変え引き継がれ、昭和30年になり、現在の愛知県印刷工業組合として認可、創立した。しかし、こうした3つの組合の設立が、その後われわれに大きな難問を与えることになった。それぞれの組織が公的に閉じられることなく、新たな組織に受け継がれたため、土地、建物の所有権問題が発生した。その問題に正面から立ち向かい法律的に解決したのは、元理事長の白井氏と前理事長の高井氏である。お二人のおかげで平成24年にメディアージュ愛知として、新たな印刷会館が竣工し今日を迎えている。私たちが将来に向かって、

存分に組合活動ができるのも、業界のために自らの時間を割いて、献身的に努力された先輩諸氏のお陰である」。

「組合活動は、従来の委員会事業に加え、CSR・環境委員会、ブランディング委員会という新しい委員会も誕生し、活発な活動を展開している。全ての委員会には組合員のどなたでも委員として参加できる。そのため企画段階から多くの皆さん



開会の挨拶を行なった
細井俊男副理事長



印刷産業人綱領を先導した
近藤起久子氏



中部経済産業局 波多野淳彦局長

「印刷関連産業は地域に根ざした産業であり、極めて広範囲な分野の顧客産業の企業を支えて、また、地域の活性化の貢献している」



愛知県知事 大村秀章知事

「印刷業界はこの地域の産業、経済を支え、デジタル化、IT化の波を乗り越え社業の発展を成し遂げられてきた。今後も新たな潮流を乗り越えなし社業の発展にご尽力いただきたい」



**全日本印刷工業組合連合会
島村博之会長**

「今の印刷業界は荒波にもまれ非常に厳しい。全印工連の組合員の皆様は全員やる気がある。その皆様のためにも経営に役立つ情報発信を行ない事業活動を推進していきたい」

の意見が反映され、セミナー等のイベントへも多数の登録をいただいている。愛印工の活動が他に類を見ないと評価されるのも、組合員の皆さんの努力の賜物である」。

「前夜祭セミナーの講師を務めた元アップルジャパン社長の山元賢治氏の言葉に、『愛印工が今後70周年、80周年を迎えられるかは、組合員自身が10年後、20年度後にどんな業界にしたいかという意欲にかかっている』と語っていた。それぞれの企業でも同じことがいえる。厳しい経済環境化だからこそ、経営者、社員を問わず、謙虚に学ぶ姿勢が必要であり、常にお客様になにを提供できるかを考える集団であることが求められている。これからも愛印工は、未来を見据え発展を目指す組合員のために、新鮮な情報を提供し、そのための活動に邁進していく」。

続いて来賓を代表し、次の3氏が祝辞を述べた。

【中部経済産業局 波多野淳彦局長】

「愛知県印刷工業組合は60年の長きにわたり、経営環境や産業構造の変化への対応に務め、印刷技術の向上に向けた人材育成や経営革新に向けた情報発信を通じて、中小印刷企業の地位向上と健全経営の環境づくりを推進されてこられた。これはひとえに歴代組合員役員をはじめ、組合員の皆様の努力の賜物である。これまでの尽力に対し深く敬意を表するものである。

本年は中部圏が日本経済を牽引し、新たな発展に弾みをつける年になることを期待している。印刷関連産業は地域に根ざした産業であり、極めて広範囲な分野の顧客産業の企業を支え、また、地域経済の活性化に貢献してきた。印刷業界の皆様には、業種の壁を越えて、地域が持つ魅力的な産品や新しい観光資源を元に魅力発信に取り組んでいただけることを大いに期待している。

平成27年度の補正予算では、ものづくり、商業、サービス、新展開などに1000億円以上を計上し、中小企業などの革新的な新サービス、新商品の開発や生産性向上のための設備投資、IT活用などに取り組む中小企業への支援に努めている。印刷業界の皆様におかれては、経済の好循環に向けて、これらの施策を積極的に活用していただき、新たな事業展開を行なわれることを期待している」。

【愛知県 大村秀章知事】

「皆様方はこの地域の産業、経済をしっかりと支えてきた。また、情報化、IT化の流れの中で、業界自身が大変大きく動いてきたと思う。これからもデジタル化、IT化の流れは留まることは無く、次から次へと新たな潮流がやってくると思う。そうした流れをしっかりと捉え、乗り越え、新たな業態展開、また新たな事業展開、新たな社業の発展に繋げていただきたい」。



懇親と親睦に華が咲いた懇親会

表彰を受けた皆さん

中部経済産業局長表彰を受けた
猪飼、(波多野局長)、木野瀬の各氏(左から)



愛知県知事表彰を受けた
吉川、土屋、(大村知事)、宇佐見、斎藤の各氏(左から)



全印工連会長・愛印工組理事長表彰を受けた
勤続40年以上の皆さん



全印工連会長・愛印工組理事長表彰を受けた
勤続30年以上の皆さん



全印工連会長・愛印工組理事長表彰を受けた
勤続20年以上の皆さん



受賞者を代表し謝辞を述べる猪飼重太郎氏

「今の業界は決して恵まれた環境ではないが、愛印工組60年の
伝統は、次を担う若手の皆様に引き継がれ、さらなる発展を祈念する」

【全日本印刷工業組合連合会(全印工連)島村博之会長】

「今の印刷業は荒波にもまれて非常に厳しい状況である。世間からも、行政からも衰退産業であると見られている中で、『いや、そうじゃない、印刷業は発展産業なんだ』と教えてくれているのは、正に組合以外のなにもものでもない。全印工連に今残っている組合員の皆さんは、全員がやる気がある。業態変革を繰り返し勝ち残っていく意欲のある皆さんだと思っている。その組合員全ての皆さんのために、これからも経営に役立つ情報発信、事業活動を推進していく」。

その後、組合役員功労表彰が行なわれ、中部経済産業局長表彰に木野瀬吉孝、猪飼重太郎の2氏、愛知県知事表彰に土屋隆司、吉川正敏、宇佐見参良、伊藤公一、斎藤和男の5氏が表彰された。また、特別優良従業員表彰では、勤続40年以上5名、勤続30年以上21名、勤続20年以上39名が表彰された。

受賞者を代表して猪飼重太郎氏が「印刷業界に携わり46年が経過した。その間、熱田支部長、組合の組織・共済委員長などを務めさせていただいた。この経験は、多くの人との交流ができ、また、自身の視野を広めるよい機会になった。今、業



記念式典で閉会の辞を述べる
鳥原久資副理事長



記念祝賀会で開会の辞を述べる
松岡祐司副理事長



記念品の木札について説明する
荒川壮一委員長



中締めを行なう
酒井良輔副理事長

界は決して恵まれた環境ではないが、60年の伝統は次代を担う若い人たちに引き継がれていくと思う。組合のさらなる発展を祈念したい」と、お礼の言葉を述べた。

鳥原久資副理事長の閉会の辞で記念式典は終了した。

□記念祝賀会

記念祝賀会は、松岡祐司副理事長の開会の挨拶、木野瀧理理事長の挨拶に続き、来賓を代表し、名古屋商工会議所紙・印刷部会白木和夫部会長が、「国内の企業では、合理化、省力化、高率化、生産性に十分な余地がある。幸い印刷業界はお客様の一番近くに位置している業界である。その特色を活かし、70年、80年、100年と組合を繋げて行っていただきたい」と祝辞を述べた。続いて、公益社団法人日本印刷技術協会の塚田司郎会長による乾杯の発声で、創立60周年を祝う祝宴がスタートした。和気藹々の中、旧交を温めるとともに、活発な情報交換に華が咲いた。宴半ばで、出席者に配られた記念品の「木札」の説明を荒川壮一ブランディング委員長が行ない、酒井良輔副理事長の3本締めで祝宴を終了した。

□記念講演会


記念式典に先立ち記念講演会が行なわれた。講演会は、大阪産業創造館チーフプロデューサー広報プロモーション担当フェロー、Bplatz編集長の山野千枝氏が「一編集長が地域を変えた一ものづくり企業再生プロジェクト『ゲンバ男子』」をテーマに講演した。山野講師は、深刻化する製造業の採用難に対し、「若年層の採用とイメージアップの実現」、さらに、

「ものづくりは人づくり」を目的に、現場の従業員と仕事をりをマスコミを活用してアプローチ。「製造業が衰退して得する人はいない」と協力者を増やし広げる。その上で、若い人が働きたくなる会社は、「1社1社の努力でしか課題は解決しない」と指摘し、若い人が自分の仕事に胸を張れる環境と気運を作るのは「大人の役目」とした。また、日本のものづくりの競争力を生み出すのは「存続力」、そして、その存続力を生み出すのは「人」と結び、「ゲンバ男子」応援プロジェクトの成果を紹介、聴講者に感銘を与えた。

※木札：ブランディング委員会が企画制作。桧に出席者の社名が彫られている。この木札は、同委員会メンバーが京都「伏見稻荷」に出掛け、未来永劫商売繁盛を祈禱したもので、「末永くご愛用していただければ幸いです」としている。




記念講演で講師を務めた山野千枝氏



Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。


色校正



Fallbard AQUA®


環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム




BLUE EARTH®

デジタル印刷システム



bizhub PRESS
C1100/C1085



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15

三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

愛知県印刷工業組合

60周年式辞

木野瀬吉孝理事長

愛知県印刷工業組合の創立60周年の記念式典にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、中部経済産業局長波多野淳彦様、愛知県知事大村秀章様、全日本印刷工業組合連合会会長島村博の様はじめ多くのご来賓、並びに関連業界、組合員の皆様にご出席を賜り、まことにありがとうございます。

愛印工の前身は、戦後、昭和22年に誕生した愛知県印刷工業協同組合です。その後、昭和24年に愛知県印刷協同組合に名称を変え引き継がれ、昭和30年になり、現在の愛知県印刷工業組合として認可、創立いたしました。しかし、こうした3つの組合の設立が、その後われわれに大きな難問を与えることになったのです。それぞれの組織が公的に閉じられることなく、新たな組織に受け継がれたため、土地、建物の所有権問題が発生しました。あまりの複雑さに歴代理事長が先送りしてきましたが、その問題に正面から立ち向かい法律的に解決したのは、元理事長の白井さんと前理事長の高井さんです。お二人のおかげで、平成24年にメディアージュ愛知として新たな印刷会館が竣工し今日を迎えています。私たちが将来に向かって、存分に組合活動ができるのも、業界のために自らの時間を割いて献身的に努力された先輩諸氏のお陰です。創立60周年を迎えるに当たり、皆様にそのことをお伝えすると同時に、改めて感謝と敬意を表します。

今、愛印工では、先ほどの映像でご覧いただいた通り、従来の委員会事業に加え、CSR・環境委員会、ブランディング委員会という新しい委員会も誕生し、活発な活動を展開しています。全ての委員会には組合員のどなたでも

委員として参加でき、1社1名という縛りもなくしています。そのため企画段階から多くの皆さんの意見が反映され、セミナー等のイベントも多数の登録をいただいています。全教科で250時間を越えるカリキュラムを備えた新入社員研修、製造や営業に特化したセミナー、そして経営者が経営を学ぶための多くの場を提供しています。愛印工の活動が他に類を見ないと評価されるのも、組合員の皆さんの努力の賜物と感謝申し上げます。

昨日、60周年記念事業の一環として、前夜祭セミナーを開催いたしております。講師は元アップルジャパン社長の山元賢治氏です。氏は講演の中で、愛印工が今後70周年、80周年を迎えられるかは、組合員自身が10年後、20年後にどんな業界にしたいかという意欲にかかっていると語っていました。それぞれの企業でも同じ事が言えると思います。組合員企業の社員さんたちが幸せを共にして、社会に貢献できる企業であり続けるのは容易なことではありません。しかし、厳しい経済環境下だからこそ、経営者、社員問わず、謙虚に学ぶ姿勢が必要であり、常にお客様になにを提供できるかを考える集団であることが求められます。これからも愛印工は、未来を見据え発展を目指す組合員のために新鮮な情報を提供し、そのための活動に邁進していく所存です。皆様には引き続きご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



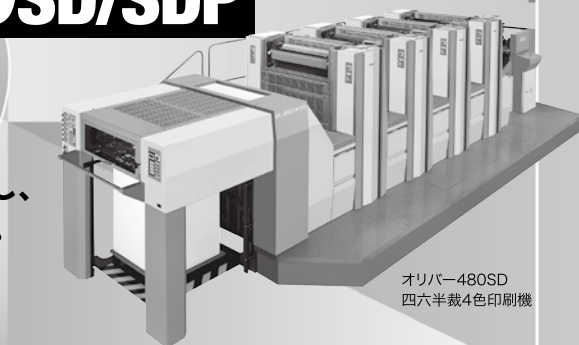
記念式典会場

四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。



オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai

株式会社 桜井クラフティシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



ISO 9001:14001認証取得
生産技術本部

ものづくり・商業・サービス補助金継続へ

新規設備の固定資産税を半減(3年間の時限措置)

経済産業省の2015年度補正予算案と2016年度予算案・税制改正が決まった。

中小企業関連においては、生産性向上、地域経済の活性化・新陳代謝の促進などを支援する各種施策を講じる。中小企業の設備投資を促す「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」(ものづくり補助金、15年度補正予算案)は、14年度とほぼ同額の1,020億5,000万円を計上した。これは、中小企業の革新的な新商品・サービス開発、生産性向上のための設備導入を支援するもので、補助率は3分の2。補助上限額は1件あたり1,000万円。設備投資を伴わない小規模な額の取組みは500万円。大幅な生産性向上(投資利率5%以上)への取組みは1件あたり3,000万円まで上限額を引き上げる。

省エネを通じた中小企業の実産性向上などを目的とする省エネ設備の導入を支援する事業(中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業、15年度補正予算案)として、442億円を計上。導入する設備単位ごとの省エネ効果などで簡易に申請が行なえる制度を創設。空調、ボイラー、照明など高効率の省エネ設備への更新を重点的に支援。補助率は3分の1。

販路開拓用のチラシ作成や商品パッケージ制作などの費用を補助する小規模事業者支援パッケージ事業(持続化補助金等、15年度補正予算案)には、100億円を計上。補助率は3分

の2。1件あたりの上限は50万円。窓口は各地の商工会、商工会議所になる。

その他、中小企業経営者の経営課題など相談に応じる窓口「よろず支援拠点」の整備と「専門家派遣」に59億7,000万円を、また中小企業の人材対策事業に18億1,000万円、事業継承、事業再生支援に58億4,000万円、資金繰り支援に966億2,000万円が盛り込まれた。

また、税制面においても事業活動を支援する。

中小企業が取得する新規の機械装置に対し、固定資産税(税率1.4%)を2分の1に軽減する制度を創設する。160万円以上の生産性を高める装置が対象となっており、2018年度末までの3年間の時限措置となる。

特例も延長される。例えば、マイナンバー制度への対応のために、パソコンや金庫、ソフトウェアなど30万円未満の減価償却資産を取得した場合、合計300万円を限度に全額損金算入(即時償却)できる。適用期間は2018年3月31日まで。

生産性向上設備投資促進税制に関しては、これまで「即時償却」または「税額控除5%」の選択制による優遇措置だったが、4月1日より「特別償却50%」または「税額控除4%」の選択制に変わる。適用期間は2017年3月31日まで。

■日印産連

「印刷用語集」さらなる内容を充実 印刷産業の理解促進へ繋ぐ

一般社団法人日本印刷産業連合会(稲木歳明会長/日印産連)では、Webで無料公開している「印刷用語集」(URL:<http://www.jfpi.or.jp/webyogo/>)について、より多くの人の活用を目指している。そのために、ユーザーが検索した用語の各種分析結果や、印刷用語集のトピックスなど新たな情報を追加している。また、用語を選定するカテゴリーを拡大し、逐次、登録用語を追加するなど、利用者がより使いやすくなることで、印刷産業の理解度促進に繋げるとしている。

日印産連は、2015年6月に設立30周年記念事業として「Web版印刷用語集」を公開したが、以降、月あたりの平均訪問者数は1万人に達し、平均閲覧用語数は約5万用語にのぼっている。ユーザーの約7割は検索エンジンを介してのアクセスであるが、「jfpi印刷用語集」の統一バナーを掲載している日印産連の会員10団体の参加企業、さらには協賛企業や関連団体など、数10社のコーポレートサイトや社内イントラネットからのアクセスも増加している。

今回、トップ画面を改良し、約6ヶ月間の活用状況の分析に基づいて、利用される頻度の高い用語、アクセスが急増した用語、関連する展示会などのイベントとの関連で追加や改定された用語の情報などを公開している。今回の改良の多くは、利用者のアイデアに基づく機能追加で、閲覧者がより利用しやすくなることを目指している。また、既存の「書籍版印刷用語集」では、印刷技術の工程を中心に用語を紹介しているが、用語のカテゴリー構造を見直し、経営・CSR系のカテゴリーを追加している。新カテゴリーの追加に合わせ、印刷の経営全般やCSR活動関連の用語、さらには、会員団体などの活動に関する用語(例えば、「GCのとびら(GC)の情報発信活動」)や「4VOC(印刷工場内の内装建材などの自主表示規制)」なども追加・改定をしたことにより、印刷産業を理解することに繋がるものと期待している。

日印産連では、今後は会員団体や会員企業・関連団体の専門家のさらなる協力を仰ぎ、「Web版印刷用語集」の用語の追加・改定活動の継続を通じて、「印刷関係者だけでなく、印刷や印刷物などに興味のある一般の人、印刷発注担当者への必要な情報をより的確に伝えるように努める」としている。

「労働安全衛生法」が改正〈6月1日より義務化がスタート〉

労働災害を未然に防止するための仕組みを充実

印刷・製本作業におけるリスクアセスメントのすすめ方

先月号でも触れましたが「労働安全衛生法」が改正され、労働者の安全と健康の保持対策を一層充実するための施策が順次施行されています。担当する労務・新人教育委員会堀裕史委員長は、「労働安全衛生法の改正により事業主は労働者の安全と健康に一層留意しなければならなくなりました。既にストレスチェックや受動喫煙防止対策などは実施されていますが、この6月1日よりリス

クアセスメントの義務化が始まります。実施されてからの対応ではなく、早めに準備しておきたいものです」と、早めの取り組みを促しています。

リスクアセスメントとはどのようなものなのか？厚生労働省発行の『印刷・製本作業におけるリスクアセスメントのすすめ方』からその概要を紹介しました。

■リスクアセスメントのすすめ方

(1)危険の芽を摘み取ることから始める

職場では多種多様な作業が行なわれ、また、新たな作業方法の採用、変更及び作業の機械化などが進んでおり、それらの実態や特性にあった安全衛生対策を行なっていく必要性が高まっています。職場にある様々な危険の芽（リスク）を見つけ出し、災害に至る前に先手を打って対策を施し、リスクの除去・低減措置を行ない、更なる労働災害の減少を図るための手法の一つとして「リスクアセスメント」があります。

印刷・製本作業には、それぞれに様々な工程があります。この工程において発生する災害状況をみると、休業4日以上死傷者の発生件数は800件を超えています。そのうち災害の種類である「事故の型別」でみると、「挟まれ・巻き込まれ」だけで50%を超え、以下、「転倒」「動作の反動・無理な動作」と続き

ます。このことから、工場内での機械関係の作業については、まず危ないと思われる作業に絞って入り込み、できることからリスクアセスメントを始めます。

(2)リスクアセスメントについて

リスクアセスメントとは、作業場における危険性又は有害性を特定し、それによる労働災害（健康障害を含む）の重篤度（災害の程度）と、その災害が発生する可能性の度合を組み合わせることでリスクを見積もり、そのリスクの大きさに基づいて対策の優先度を決め、リスクの除去又は低減の措置を検討し、その結果を記録する一連の手法をいいます。リスクアセスメントによって検討された措置は、安全衛生計画に盛り込み、計画的に実施する必要があります。

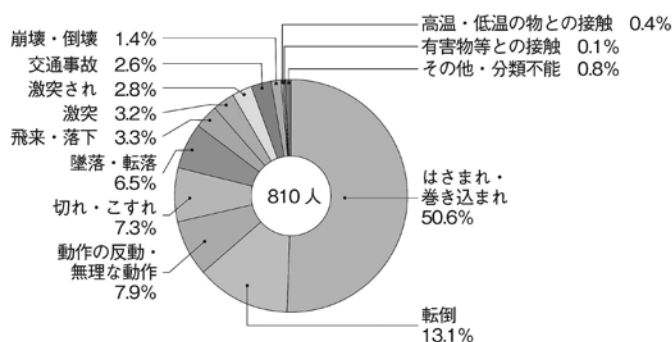
(3)リスクアセスメントの目的と効果

□リスクアセスメントの目的

リスクアセスメントを導入し実施する主な目的は、職場の全員が参加して、職場にある危険の芽（リスク）とそれに対する対策の実情を知って、災害に至る危険性と有害性を事前にできるだけ取り除き、労働災害が生じないような快適な職場にすることです。

□リスクアセスメントの効果

リスクアセスメントを実施することにより、次のような効果が期待できます。①職場のリスクが明確になる。②職場のリスクに対する認識を管理者を含め、職場全体で共有できる。③安全対策について、合理的な方法で優先順位を決めることができる。④残されたリスクについて「守るべき決め事」の理由が明確になる。⑤職場全員が参加することにより「危



印刷・製本作業における事故の型別労働災害発生状況 (平成18年)

**240線高画質高精細
カラー印刷を標準稼働中!!**

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社
TEL 0564-62-8461 (代)
FAX 0564-62-8463

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社



メイカミ
名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒416-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0568) 39-0501

険]に対する感受性が高まる]などです。

(4) リスクアセスメントの実施手順

リスクアセスメントは、危険性又は有害性の特定からスタートします。作業場に存在する危険性又は有害性をいかに特定するかが、リスクアセスメントを効果的なものにするためのカギとなります。

□リスクアセスメント実施手順

リスクアセスメントの実施手順は次のようになります。

①実施体制(まずはトップの決意表明から全員参加で実施する)⇒②実施時期(設備作業方法を新規に採用した時、又は変更したときなどに実施する)⇒③情報の入手(作業手順書、取扱説明書、ヒヤリハット事例などの情報などを入手する)⇒④危険性または有害性の特定(作業単位で危険性または有害性を特定する)⇒⑤リスクの見積り(リスク見積りもりの方法で見積る)⇒⑥リスク低減措置(まずは作業のやり方、手順を見直し、改善の方法を考える。次に設備、最後に作業手順書の作成と教育を徹底する)⑦優先度に対応した提言措置の実施⇒⑧結果の記録(ノウハウとして蓄積、伝承する)。

□実施体制について

●リスクアセスメントを導入する場合、経営のトップは、従業員や関係者に自らの意思として「リスクアセスメントを行なう」ことを宣言する必要があります。

●事業場や店舗のトップ(総括安全衛生管理者等)が実施を統括管理します。

●事業場や店舗の安全管理者、衛生管理者等が実施を管理します。

●安全衛生委員会等を活用し、労働者を参画させます。

●その職場の作業指揮者(班長・職長)を参画させます。

●必要な教育を実施します。

□実施時期

実施時期については、設備又は作業方法を変更したり、新規に採用した場合や、労働災害が発生した場合等がありますが、「まずは、リスクアセスメントをやってみよう」ということで、危ないと思われる作業・作業場所を導入時の対象として絞り込み、できるところからリスクアセスメントを始めます。

□情報の入手

入手すべき情報としては、作業手順書、ヒヤリハット、KYK(危険予知活動)の事例、安全パトロール結果、類似災害情報等があり、これらを作業員から報告させる仕組みが必要である。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
平成28年 2月26日(金) 10:00 ~ 12:00	事業名	ゼロから始める“見える化”セミナー ～愛知県で取組んでいる4社の その後の事例発表～
	パネリスト	●度会尚志(豊川印刷㈱) ●近藤起久子(㈱近藤印刷) ●加藤義章(㈱フジカ) ●磯貝健(駒田印刷㈱)
	場所	ウィングあいち1202会議室
	参加費	各県印刷工業組合員 1人 3,000円 一般 1人 5,000円
平成28年 3月 ※日時未定	定員	70名
	申込期日	H28年2月17日(水)
	事業名	第3回 新しいビジネスモデルを考える研修会
	講師(予定)	㈱まるは代表取締役 坂野豊和氏
※日時未定	場所	メディアージュ愛知3階会議室
	参加費	各県印刷工業組合員 1人 500円 一般 1人 1,000円
	その他	※詳細調整中 ※2月中旬にFAX及びホームページでご案内します。

□危険性または有害性の特定

危険性又は有害性の特定を行なう場合は、「危険性又は有害性の特定の着眼点」(省略)、「主な危険性又は有害性と発生のおそれのある災害の例」(省略)を参照すると共に以下のことに留意する。

●対象作業の取扱マニュアルや作業手順書を用意します(それが無い場合は、作業の概要を書き出します)。

●対象作業はわかりやすい単位で区分します。

●危険性又は有害性の特定は取扱マニュアル等を活用して対象作業のステップごとに「～なので、～して、～になる」という形で書き出します。

●日常の仕事とは違う目、すなわち危険がないかという目で、現場を観察してみます(過去に起こった災害は、そんなことが起きるわけがないと思われるような災害が多い)。

●機械や設備は故障するし、人はミスをするということを前提に作業現場を観察してみます。

□リスクの見積り

リスク見積りの方法

特定された危険性又は有害性に対して、リスクの見積り方法に基づきリスクの大きさを見積ります。リスクの見積りで留意すべき事項は次のとおりです。

●リスクの見積りは、極力複数の人で実施します。多様な

幅広いニーズに対応するキャパシティと工場24時間稼働体制でサポート

- OFFSET PRINTING (組合印刷)
- UV PRINTING (特殊紙・バネーター印刷)
- POST CARD・ENVELOPE (はがき・封筒カラー印刷)
- BUSINESS CARD (名刺・DM・エンディング印刷)
- SEAL・有孔加工 (シーリング印刷・筒形印刷)
- OUT SOURCING (宛名印刷・各種加工)

印刷ステーション **DAIKYU**

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL 052-262-0555 FAX 052-262-1043
関連会社/ (株)太急・(株)山川

盛功社の創業は1889年。2014年に125周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikoshinsha-net.jp/

観点があった方がより適切な見積りができるからです。

●リスクの見積りのメンバーは、必ずしも上位職の者とは限りません。作業内容を最もよく知っている人がなります。

●リーダーは意見の調整役に徹するように努めます。

●現在行なっている安全対策の有効性を考慮して、リスクの見積りを行ないます。

●リスクの見積りにあたっては、具体的な負傷・疾病を想定して行ないます。

●見積りした値がばらついた時は、よく意見を聞いて調整します。(こうだと決め付けてはいけません。メンバーの経験、知識、年齢、性別等それぞれ違うので、バラつくのが当然と考えます)。見積りの値は平均点ではなく、多数決で決めるものでもありません。メンバー間で話し合い、合意したものとします。

●見積りの値については、説明のつくものでなければなりません(やま勘は禁物です)。

●過去に発生した災害の重篤度ではなく、最悪な状況を想定した重篤度で見積ります。

●見積りの値はメンバーの中で、最もリスクを高く見積った評価値を出した人からよく意見を聴き、メンバーの納得のもとに採用します。

これらの点に留意し、メンバー間で意見を出し合い、話し合い、意見の違いについてはお互いに調整し、最終的にはメンバーの総意として集約します。これらの過程により情報や認識が共有化されます。

□リスク低減措置の検討及び実施

リスク低減措置の検討を行なう場合、法令に定められた事項がある場合には、それを必ず実施するとともに、リスクの高いものから優先的に検討を行なうことになります。

リスク低減措置の原則は、まず危険作業をなくしたり、見直したりすることでリスクを減らすことを検討することです。それらが難しいときは、設備的対策を検討し、さらに管理的対策を検討する。個人用保護具は最後の対策です。

次に大切なことは「リスク低減措置実施後の検証」です。目的通りのリスクに下がったかどうか検証することは、リスクアセスメントの精度向上につながります。しかし、現状の技術上の制約等により対応が困難な場合は、リスクが残り「残留リスク」となります。「残留リスク」については、直ちに、作業者に対して「決めごとを守るべき理由」「どんなリスクから身を守るか」等のような残留リスクがあるかを周知し、「暫定措置」を実施し、設備改善等の恒久対策の検討・実施は、次年度の安全衛生管理計画などに反映させて、計画的に、解決を図ることが大切です。

□リスクアセスメント実施状況の記録と見直し

前の段階で検討したリスク低減措置実施後に想定されるリスクについて、リスクアセスメント担当者等(又は安全衛生委員会等)による会議で審議し、事業場としてリスク低減措置の実施上の優先度を判断し、具体的な活動へ進みます。また、リスクアセスメントの実施結果が適切であったかどうか、見直しや改善が必要かどうかを検討し、次年度以降のリスクアセスメントを含めた安全衛生目標と安全衛生計画の策定、さらに安全衛生水準の向上に役立てることが望まれる。リスクアセスメント実施一覧表は実施記録として保存します。

※次号においては、印刷関係、製本関係における主な危険性または有害性の恐れのある災害例について取り上げます。

※厚生労働省作成の「印刷・製本業における、リスクアセスメントのすすめ方」(PDF)を組合ホームページからダウンロードしていただけますので参考にしてください。

■愛印工組

光文堂新春機材展 「コラボレーション展」に出展 印刷業界で働く人にスポットを当て紹介

愛印工組では、1月27、28日の両日名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開催された光文堂新春機材展に出展し、業界PRに務めた。昨年同様、「コラボレーション展」コーナー



愛印工組のブース

に設けられたブースで、「未来の印刷業界へ優秀な若き人材の獲得に向けた業界PR」を目的に、印刷業界に興味を持つ若者をターゲットに、機材展を通じて業界の今を知ってもらおうと学生対象の相談コーナーを設け、印刷産業に対する疑問・質問や働くこと、仕事内容についての問掛けにブランディング委員会のメンバー(経営者)及び、組合員企業の若手社員が応じた。ブース内のモニターでは、「印刷産業PRムービー」を放映した。また、毎年開催しているポスターグランプリの第6回入賞作品を、会場内各所に展示し、認知度向上にも結び付いた。

愛印工組など9団体が後援する新春機材展は、新春恒例の催しものとして定着、今回で52回目を数える。主催する光文堂も創業70周年を迎え、その記念の機材展になることで、例年にも増して力が入れられ過去最大規模での開催となった。27日9時30分よりオープニングセレモニーが開かれ、(株)光文堂讃岐秀昭社長の挨拶に続いて、来賓を代表し木野瀬吉孝理事長がお祝いの言葉を述べた。その後、テープカットが行なわれ、2日間に亘る展示会がオープンした。

機材展会場では、内外の優秀メーカー、ディーラーから自慢の新鋭機材が出展されるとともに、最新情報が発信され

■ 愛印工組・マーケティング委員会

新しいビジネスモデルを考える研修会

営業育成支援！

愛印工組・マーケティング委員会は、昨年12月1日にメディアージュ愛知において、マーケティングセミナー「第2回新しいビジネスモデルを考える研修会『営業育成支援！』」を開催した。セミナー講師は、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)(FFGS)村越隆男氏が務め、営業育成への課題と同社で実践されている育成方法について解説された。以下、村越講師の講演内容からその要旨をピックアップし紹介する。



講演する村越講師

■ 企業とは何か

企業は営利を目的として生産・販売・サービスなどの経済活動を継続して営む経済単位(組織)である。企業の目的には、ミッション、価値観が必要であり、企業の目標には、ビジョン、戦略が必要である。

■ 営業活動で注意したい事項

商品説明だけの提案で終わる／顧客が思っているニーズが読み取れない／顧客が気がつかない潜在ニーズを掘り起こせない／自社の強みを生かせない／競合との差別化が価格対応でしかできない／顧客との雑談ができない／現場担当者へのみの売込み／顧客との良好な関係を築けない。

■ 旧式と新時代の営業スタイルの比較

旧式の営業スタイルは、①御用聞き型(一方的売込み型)、②人間関係に頼った営業、③担当者単独活動型、④営業コスト度外視型、⑤既製自社商品のみ売込み型になる。新時代の営業スタイルは、①お客様の問題解決提案型、②企業対企業の関係に基づく営業、③技術やサービスを含めたチーム活動

た。オフセット印刷機、オンデマンド印刷機、環境対応関連機器、後加工機器など、初公開の製品も多数出展された。また、今回会場を賑わしたのは、光文堂が活字製造から活版印刷機製造へ乗り出したところに製造された活版印刷機2台が出展され、活版時代を体験した参観者の郷愁を誘った。

一方、恒例のコラボレーション展では、40社・1団体が出展し自慢のノウハウをアピールした。愛印工組・組合員の出展は、伊藤手帳(株)、(株)岩田製本所(NPOひまわりノート)、(株)大幸(株)アクアス)、アミエ(株)、(株)キングコーポレーション、(株)近藤印刷、(株)鈴木紙工所、大信印刷(株)、(株)販促ファクトリー、(株)二和印刷紙業、(株)メイセイプリント、名東紙工(株)、そして、愛知県印刷工業組合が参加した。

型、④営業生産性重視型、⑤顧客ニーズ開発提案型になる。

■ 顧客に対する営業スタイル(マーケティング)

【行動重視型マーケティング】問題・解決策について、売り手も買い手も明らかな状態で、売り手が解決すべき課題は、買い手を縛っている制約条件を発見し、先んじた対応をスピーディーに行なう。

【提案型マーケティング】買い手は問題や解決策について理解していない状態。売り手が買い手に解決策を啓蒙することが必要になる。

【奉仕型マーケティング】買い手は問題を解っているが、売り手がその解決策を知らない状態。営業は買い手のニーズを探り、少しでも高い満足を獲得しようと努力する。

【ワークショップ型マーケティング】問題・解決策について、売り手も買い手も解っていない状態。一緒になって問題の本質を確認し、解決策を提案する必要がある。営業はお客様と信頼関係を構築し、組織的に協働できる場を作ることが重要となる。

※営業の4種類は、そのときの需要や競争環境などの状況によって決まるもので、どれが優れているというものではない。高度成長時代に有効だった「行動重視型」は少なくなり、成熟・国際社会の現在は「ワークショップ型」が増えている。

■ 営業に必要な5つの基本的スキル

「聴く力／考える力／話す力／書く力／時間力」がある。

具体的に、聴く力は、話し相手の正面を向いて聴く。考える力は、何故を3回考える、それでもわからなければ人に聴く。話す力は、結論を先に言い、具体的な数字を入れて一言でまとめる。書く力は、誰に、何を一番に、何故、どうやってを考える。文書には、①目的、②結論、③理由、④追記(付記)を組み立て、完結に50文字以内にまとめる。時間力は、やるべき仕事を書き出し順番を付ける。優先順位の付け方は重大性、緊急性、拡大性を加味し、30分単位のスケジュール表で管理する。

■ やる気のポイント

やる気が出る前に始めてしまう。始める理由がなくても大丈夫。やる気が出てから始めようなどと思っていたら、いつまでたっても何も始めることはできない。何か理由を見付けようとするれば、やらない理由ばかり見付けてしまうだけ。やらなきゃならないと思っている時間より、さっさとやってしまう時間のほうが何倍も短い。まず始める⇒行動⇒結果⇒成果⇒習慣化⇒やる気。やる気のスパイラルが重要である。

第6回ポスターグランプリコンペティション

「ポスターグランプリ作品集」発行

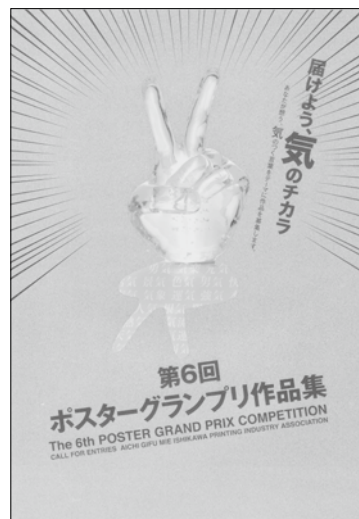
愛知県、岐阜県、三重県、石川県の各印刷工業組合、愛知県印刷協同組合が主催し開催された第6回ポスターグランプリコンペティションの「ポスターグランプリ作品集」が完成した。

「気」をテーマに募集が行なわれ、グランプリ1点、優秀賞(一般、大学、専門学校、高校の部)6点、特別賞10点、協賛会社賞32点、入選63点、計112点が収録されている。

今回で第6回目を迎えるポスターグランプリには、将来のグラフィックデザイン業

界を担う学生、生徒、及び、一般のデザイナーから337点の作品が寄せられた。この中から最優秀賞グランプリ(中部経済産業局長賞)に輝いたのは、日本デザイナー芸術学院の伊藤里美さんの作品。木野瀬吉孝理事長は伊藤さんの作品に対し、「気という文字を無数の切手で表現した作品。切手1枚1枚が持つデザイン性が巧みに生かされていると同時に、文字全体を使わない手法にも工夫が見られた」と高く評価している。

第7回目のテーマは「VS」



■全印工連「Shin」第5号発行

CSR認定企業紹介

全日本印刷工業組合連合会のCSRマガジン「Shin-信頼の絆で共に伸びゆく新時代」の第5号を発行した。

全印工連CSR認定企業訪問では、ツスター認定のアイズ(滋賀県蒲生郡、大

森七幸社長)とワンスター認定のミドリ印刷(福岡市、坂本満康社長)の2社を紹介。CSR元気企業「この会社に学べ」ではムトウユニパックが登場している。

アイズは、3年前に創業135年の節目を迎えたことから原点に立ち戻り、企業理念を「すべてのステークホルダーのよかったsmile、のために私達は存在する」と新たに設定。同社で考案した寄付金付き印刷用紙「琵琶湖環境ペーパー」の普及や、琵琶湖に広く生育する多年草「ヨシ」の健全な育成を促すヨシ刈りへの参加など、環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

今年5月からは社内にCSR委員会を発

足させ、CS(顧客満足)とES(従業員満足)の両方を包括する形で、持続可能な企業に向けてCSR活動を高めている。

ミドリ印刷は、九州で最初のワンスター認定企業。地域への取り組みではインターンシップの受け入れや福岡大空襲証言を伝える「平和学習ARカード」の無償作成・配布、九州大学百年記念事業への寄付など、多岐にわたり取り組んでいる。

CSRは、経営者だけではなく、社員が一丸となって取り組むべきだとし、積極的にCSR認定制度に参加する企業が増えて行くことは、業界が底上げされ喜ばしい、としている。



編集だより

■愛印工組創立60周年記念事業が無事終了しました。380名におよぶ大勢の皆さんが60周年を祝福してくださいました。本当に有難うございました。本号はページを多く取り事業の内容を詳報しました。また、会場でお配りしたブランディング委員会企画・制作の木札。この木札は、当組合の鳥原久資副理事長とブランディング委員が京

都の伏見稲荷まで出掛け「未来永劫商売繁盛」を祈念してきたものです。きっとご利益がありますので、大事に使用していただき、10年後の創立70周年祝賀会にご持参ください。■光文堂の新春機材展に今回も出展しました。若い人たちに印刷業界の姿をPRしました。すぐに答えが出るものではありませんが、手応えは感じました。また、会場内各所に展示されたポスターグランプリの入賞作品にも多くの注目がありました。

あいの印刷

No.531

平成28年2月10日発行

発行人 木野瀬吉孝
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp



美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通して
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン Graphic design

ウェブデザイン Web design

セールスプロモーションデザイン Sales promotion design

エディトリアルデザイン Editorial design

アドバタイジングデザイン Advertising design

オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F

TEL 052・523・1257 FAX 052・523・1258 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp



Japan.
Endless
Discovery.



インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。

JPSA モリサワ

モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語対応電子配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522

Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用資材

Printing Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)

king 株式会社キングコーポレーション

本社/〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

原点、そして未来へ。80, 90, 100年

KOBUNDO
創業70周年

KBD NEW PRODUCTS

オンデマンド UV-LED インクジェットプリンタ
KBD compress HS
デュアルUV-LEDランプで
硬化スピードが従来の3倍に!

A2印刷面積
ワイド
300mm高さまで
対応可能



デジタルホットスタンププリンター
KBD デジハクAF

オンデマンドで箔を
印刷する



ユーザビリティな動画サイトを簡単操作で
表現するCloudサービス登場!

KBDムービングセレクション
MOVING SELECTION

- 複数の動画をブラウザで一括表示
- インデックス機能でカテゴリ分け表
- 登録や表示ON・OFFがカンタン!



Web動画をラクラク一覧表示

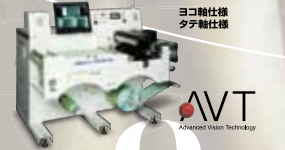
オンレスUV装置
KBD LED-UV イージックス
先進のテクノロジーが、
すでにある印刷機をも進化させます。

UVニスでオンデマンド印刷物に付加価値を与える!
KBD デザインニスコーター

6種類のニス柄が付いたローラーで、
印刷物の表面を保護しながら
付加価値の高い
ニスコーティング
を実現。



世界が認めた AVT 社製システム搭載
シール・ラベル検査装置
シール・ラベル用全自動検査装置
KBD チェックマスター-SL
全ての不良を検知する、縞染のシール・ラベル
全自動検査装置。



ヨコ軸仕様
タテ軸仕様

AVT
Advanced Vision Technology

枚葉オフセット検査装置
オフセット印刷 品質検査装置
KBD Lab-vision
機能・品質・デザイン
ひとつも妥協しない
ハイエンド検査装置



刷版データ比較 刷り出し・抜き取り検査装置
KBD Micro-vision
PDF Matching Sheet Scanner

真に実用的な
「スタートプレス」
検査装置

イルミネーションサイネージ ~ 光の空間装飾 ~
KBD Illuminations
イルミネーション
販促や宣伝用の空間
演出の提案をしてみ
ませんか?



画像データでリアルな試着ができる!
KBD パーチャルサプライズ New Try On
着替えないこれからの試着!
360°
ポーズに
合わせて
リアルな試着!

製本機ローラー洗浄剤
KBD ローラー=ECO

貼るだけで3Dの効果を表現
KBD 3Dラミネートフィルム
メディアに出力した後、
ラミネートするだけでレンズ効果で3Dに!

防水球体型サイネージ
KBD GURU LED
NEWシリーズ40・50・60
2つのビジュアルを同時に表現!
インパクトの高いLEDサイネージ!!



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所/北海道・青森・山形
平塚・刈塚・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄